

2013 年度ドクター研究員研究活動実績報告書

ふり 氏	がな 名	くまがい 熊谷	みか 美香
(研究テーマ名) バブル経済崩壊以降の大都市における居住地域構造の変容に関する地理学的研究			
(研究活動実績)			
<学会発表>			
前年度に執筆した論文（掲載誌： <i>UrbanScope</i> ）「1995～2005年の東京と大阪における都市居住者特性の変化に関する都市間比較（邦題）」をベースとした学会発表を行った。日本のバブル崩壊以降の二大都市（東京、大阪）の居住者特性がどのように変化してきたかを国勢調査のデータ分析から明らかにし、両都市の変化の方向性と都市間の格差について報告した。			
◆ Mika Kumagai, “A Comparative Analysis of Changes in the Characteristics of Urban Residents: Case of Tokyo and Osaka after the Bubble Economy” IGU Kyoto Regional Conference 2013（2013年京都国際地理学会議）, Kyoto International Conference Center, Kyoto, Japan, Aug. 2013.			
<共同研究>			
前年度から引き続き、研究代表者（木村義成准教授と共同代表）として、大阪市大・府大・(株)帝国データバンクの三者による産学連携プロジェクトを遂行した。			
◆大阪市立大学、大阪府立大学、(株)帝国データバンクによる共同研究プロジェクト研究「地理情報システムおよび帝国データバンクの保有する企業データを用いた取引関係構造の空間分析」（研究代表者：熊谷美香・木村義成）（2012年10月～2013年9月総額：600千円）			
<その他>			
2014年1月より、法学研究科の阿部昌樹教授が代表を務める重点研究（A）「ポスト分権改革時代の都市」のリサーチアシスタントとして、GIS関連のデータ構築・加工・分析に携わっている。日本全国の都市を対象とし、都市研究にフォーカスしつつも、多様な研究目的のために広く利用可能な都市研究・時空間アーカイヴとして、地理情報システムの整備およびデータ構築を進めている。			